

## 2019年登録販売者試験 in 関西 第五章 & 三章 (一部解説)

### 【第五章】

問114 一般用医薬品の使用上の注意における主な成分と「次の人は使用（服用）しないこと」の関係の正誤について、正しい組合せを一つ選べ。

[主な成分]	[次の人は使用（服用）しないこと]
a. カフェイン	激しい腹痛又は吐き気、嘔吐の症状がある人
b. 芍薬甘草湯	高血圧の診断を受けた人
c. プソイドエフェドリン塩酸塩	糖尿病の診断を受けた人
d. スクラルファート	透析療法を受けている人

正解：c,d が○

- a. 「胃酸過多の症状がある人」または「胃潰瘍の診断を受けた人」なら正解。
- b. 「心臓病の診断を受けた人」なら正解。

また、「高血圧の診断を受けた人」で「使用しないこと」となっているのはプソイドエフェドリンである。

問115 一般用医薬品の使用上の注意において、イブプロフェン（以下、本剤）を成分とする内服薬で、「次の人は服用しないこと」とされている対象について、正しいものの組合せを一つ選べ。

- a. 本剤又は本剤の成分のより胃・十二指腸潰瘍にかかったことがある人
- b. 本剤又は他の解熱鎮痛剤、かぜ薬を服用して、ぜんそくを起こしたことがある人
- c. 心臓病、腎臓病、肝臓病の診断を受けたことがある人
- d. 5歳未満の小児

正解：b,d が○

イブプロフェンの添付文書への記載の問題は超頻出なので、覚えることをお勧めします。

①イブプロフェンを「服用しないこと」となっているのは

- ・喘息を起こしたことがある人
- ・15歳未満の小児

②イブプロフェンが「相談すること」になっているのは

- ・妊娠または妊娠していると思われる人
- ・肝臓病、心臓病、腎臓病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病の診断を受けた人
- ・胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン氏病にかかったことがある人

### 【第三章】

問3 1 咳を抑えることを目的とする成分のうち、授乳中の女性が避けなければならない成分を一つ選べ。

1. ノスカピン塩酸塩
2. チペピジンヒベンズ酸塩
3. クロペラスチン塩酸塩
4. ジヒドロコデインリン酸塩
5. ジメモルファンリン酸塩

正解：4

麻薬性鎮咳薬を選ぶ問題。授乳婦が使用すると乳児にモルヒネ中毒の恐れがある。他は全て非麻薬性鎮咳薬。(クロペラスチンは試験でも現場でもマイナーな成分なので、ここであえて取り上げました。)

問3 2 咳止めや痰を出しやすくする目的で用いられる漢方処方製剤に関する記述の正誤について、正しい組合せを一つ選べ。

- a. 麻杏甘石湯は、体力中等度あるいはそれ以上で、咳が出て、ときにのどが渇くものの咳、気管支炎、小児喘息に用いられる。
- b. 麦門冬湯は、体力中等度以上のものの水様性の痰にしばしば用いられる。
- c. 半夏厚朴湯は、体力中等度をめやすとして、気分がふさいで、咽喉・食道部に異物感があり、ときに動悸、めまい、嘔気などを伴う不安神経症、咳、しわがれ声に用いられる。
- d. 柴朴湯は、別名小柴胡合半夏厚朴湯ともいう。

正解：a,c,d が○

- a. 麻杏甘石湯：キーワードは「のどが渇く」。
- b. 麦門冬湯：麦門冬湯は潤す漢方で、水様痰のある人には不向き。←頻出です。この問題の場合は効能が書かれていないが、「冬」は乾燥しているので、キーワードは「のどの乾燥感」と覚える。加えて、咳症状に使われる漢方の中で、唯一「体力中等度以下」の人に使う漢方である。
- c. 半夏厚朴湯のキーワードは「咽喉・食道部に異物感」。
- d. この通り。小柴胡湯+半夏厚朴湯=柴朴湯 なので、別名を「小柴胡合半夏厚朴湯」という。

問47 きず口等の殺菌消毒成分に関する記述について、正しいものの組合せを一つ選べ。

- a. オキシドールの作用は持続的で、組織への浸透性は高い。
- b. マーキュロクロムは、ヨードチンキと混合すると不溶性沈殿を生じて殺菌効果が低下する。
- c. 消毒用エタノールの作用は、過酸化水素の分解に伴って発生する活性酸素による酸化及び発生する酸素による泡立ちによる物理的な洗浄効果である。
- d. クロルヘキシジン塩酸塩は、一般細菌類、真菌類に対して比較的広い殺菌消毒作用を示すが、結核菌やウイルスに対する殺菌消毒作用はない。

正解：b,d が○

- a. 作用の持続性は乏しい。組織への浸透性も低い。
- b. いわゆる「赤チン」の成分で、国内生産が2020年末で終わるが、手引きからはまだ削除されていない。有機水銀の一種。英語でマーキュリーとは、水銀、水星のこと。
- c. オキシドールの説明になっている。「過酸化水素」と言えば「オキシドール」と覚えましょう。

問49 肌の角質化、かさつきを改善する成分に関する記述の正誤について、正しい組合せを一つ選べ。

- a. いぼに用いる製品は、医薬品としてのみ認められており、原因となるウイルスに対する抑制作用を有している。
- b. サリチル酸は、角質成分を溶解することにより角質軟化作用を示す。
- c. 尿素は、角質層を構成するケラチンを変質させることにより角質軟化作用を示す。
- d. オリーブ油は、角質層の水分保持量を高め、皮膚の乾燥を改善する。

正解：b,d が○

- a. ウイルスに対する抑制作用はない。
- c. ケラチン変質と言えば「イオウ」。
- d. オリーブ油の記述は合っていますが、オリーブ油の記述の入った問題は珍しいので取り上げてみました。  
角質層の水分保持量を高め、皮膚の乾燥を改善する成分：グリセリン、尿素、白色ワセリン、オリーブ油、ヘパリン類似物質等